

福生町の交通は比較的便利で、国鉄では青梅線が町の中央を北西から東南に走り、八高線が町の東側を南北に走っている。五日市線は町の南部を南東から西に延びている。

バスは私線ではあるが、立川バス、五王バスが、立川～福生～五日市、福生～青梅、福生～八王子間を結び、さらに福生、羽村、瑞穂間を循環している。

青梅線と福生駅（駅長 荻野政夫）

明治22年甲武鉄道（現在の中央線）新宿立川間が開通したので、西多摩の有志が相計り立川村との軽便鉄道を請願したところ、明治24年に免許された。

その後奥多摩の石灰石に着目し、これの搬出のために、更に氷川まで延長し今日に及んでいる。その間約70年明治の中期から昭和の現在まで社会の発展と、ともに成長し、唯一の地方交通機関として西多摩地方の発展に多大の寄与をしてきた。



福生駅の改札

1. 開通状況

立川	青梅間	開通	明治27年	11月19日
青梅	二俣尾間	//	大正9年	1月1日
二俣尾	御岳間	//	昭和4年	9月1日
国有鉄道に移管			昭和19年	4月1日
御岳	氷川間	開通	昭和19年	7月1日

2. 営業キロ程 立川氷川間 37.2キロメートル

3. 踏切道の数

第1種	第2種	第3種	第4種	計
11	—	11	154	176

4. 業務機関数

駅 24 区 13 室 1 計 38

5. 列車運転回数

電車 130回                      貨物 30回                      計160回

6. 輸送量(1日平均)

乗降人員	貨物発着トン数	手小荷物発送個数
115,554人	6,537トン	79個

7. 福生町所在駅の営業開始

福生駅                      明治27年11月19日  
 同改築                      昭和24年 1月 1日  
 同東口開設                  昭和26年12月30日  
 牛浜駅                      昭和19年 7月 1日  
 東福生駅                      昭和 6年12月10日  
 熊川駅                      昭和 6年 5月28日

8. 福生町所在4駅の乗降客数の推移(1日平均)

年度別	駅別 種別	福生駅			牛浜駅		東福生駅		熊川駅	
		定期	定期外	貨物発送 トン数	定期	定期外	定期	定期外	定期	定期外
		人	人	トン	人	人	人	人	人	人
(昭和)	26	6,551	3,007	98	2,296	1,307	880	232	—	—
	27	6,749	3,115	109	3,105	1,513	1,018	206	—	—
	28	6,150	4,200	76	3,343	1,764	926	261	—	—
	29	6,127	4,306	38	3,250	1,808	820	247	—	—
	30	6,037	4,331	37	3,684	1,915	858	261	—	—
	31	6,614	4,811	36	3,847	1,955	906	243	—	—
	32	6,672	4,819	48	3,804	1,902	1,022	267	494	89
	33	7,313	4,954	43	3,765	1,811	1,030	243	486	86
	34	7,625	5,099	33	3,558	1,550	1,202	248	302	88
(推定)	35	8,030	5,270	33	3,700	1,612	1,286	269	364	103
(推定)	40	10,840	7,115	40	4,995	2,155	1,546	344	1,082	116

【備考】 昭和34年12月9日限り福生河原駅営業廃止となる。